

田原市

あなたと議会を結ぶメッセージ

議会だより

No.55

平成27年11月1日号

今月の渥美半島の花
「輪菊」



■ 主な内容

平成27年第3回定例会 (9/2~29)

- あらまし 2
- 意見書の送付 5
- 委員会審査 6
- 一般質問 8
- 審議結果 15

平成27年第2回臨時会

- あらまし 18
- その他
- 常任委員会所管事務調査 16
 - 行政視察報告 17
 - ちびっこ議会の開催 19

輝く
子どもたち

ちびっこ議会が開催され、子どもたちが
「田原市の未来」について話し合いました。

 TAHARA CITY

平成26年度決算を認定

昨年度より6億円増の歳入
統合した伊良湖岬小学校改修
稲場保育園整備等を実施

第3回定例会は、9月2日から29日までを会期とし開催しました。

平成26年度の決算認定を含む市長提出議案15件を、いずれも原案のとおり可決、承認しました。

9月3日、4日には一般質問があり、10名の議員が個人質問を行いました。

また、陳情・請願を採択し、安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書などを国の関係機関に送付しました。

決算を認定

市長は、翌年度予算を決める3月の定例会までに、前年度の決算について、議会の認定を受けなければなりません。

9月14日から17日までの4日間において、予算決算委員会において、決算内容を審査し、本会議最終日に全ての決算を認定しました。

決算規模

歳入総額 479億7033万円
歳出総額 455億1129万円

(一般会計・特別会計の合計)

一般会計決算

歳入 322億3405万円
歳出 304億1697万円

歳入は、法人市民税が約64億円となり前年度より7倍の増。全体で、6億2011万円の増。

歳出は、財政調整基金・大規模事業推進基金への積立を含む、12億3076万円の増。

田原 P7

特別会計(6会計)

国民健康保険、公共下水道事業
農業集落排水事業、田原福祉専門学校
介護保険、後期高齢者医療

歳入 157億3628万円
歳出 150億9430万円

給食センター給食費特別会計と中心市街地商業等活性化事業特別会計が平成25年度で廃止された。

6会計は、実質収支額・単年度収支額では黒字だが、一般会計からの繰入金を考慮した純計収支額では15億4700万円の赤字。

田原 P7

企業会計

水道事業会計

収益的収入 14億5546万円
収益的支出 13億8613万円

※表示単位は千円未満切捨て

討論

表決の前に、賛成か反対かの意見を表明すること。

平成26年度決算 一般会計

市の会計のうち、基礎的な経理を中心とした会計です。昨年度の予算はこのように使われました。



総務費
56億6657万円
ぐるりんバス運行事業 8700万円
基金積立 29億9000万円



議会費
2億1616万円
議会運営の経費



商工費
7億9361万円
蔵王山展望台改修など 2億500万円
観光情報サービスセンター運営など 5億8500万



農林水産業費
15億5315万円
笠山農村公園整備など 8400万円



衛生費
24億7996万円
ごみ収集 2億5700万円



民生費
81億8417万円
稲場保育園整備など 6億1600万円



公債費
34億2846万円
市が借り入れた地方債の元利償還に要する経費(借金返済)



教育費
29億190万円
渥美図書館改修など 1億 900万円
伊良湖岬小学校改修など 6000万円



消防費
15億9847万円
防災行政無線整備など 1億900万円



土木費
35億1863万円
田原駅周辺整備 2億700万円
浦片地区土地区画整理関連 3億2000万円

特別会計・企業会計

一般会計と分けて、経理する必要があるため事業別に分けられた会計です。

会計	区分	歳入総額	歳出総額	差引額
特別会計	国民健康保険	79億 631万円	76億3745万円	2億6886万円
	公共下水道事業	15億9443万円	15億5511万円	3932万円
	農業集落排水事業	11億1581万円	10億5789万円	5792万円
	田原福祉専門学校	1億 673万円	1億 673万円	0万円
	介護保険	43億5180万円	40億8156万円	2億7024万円
	後期高齢者医療	6億6118万円	6億5555万円	563万円
水道事業会計(企業会計)		収益的収入14億5546万円	収益的支出13億8613万円	6933万円

※表示単位は万円未満切捨て

可決した主な議案

予算案件

一般会計補正予算（第2号）

▽補正額 4億3156万円

▽主な内容

日出海岸のごみ流出防止のための
法面保全工事（9160万円）

津波避難マウンド整備のための旧堀
切小学校の解体工事等（8183万円）

その他 あおぞら園（児童センター
分館）改修、渥美運動公園改修など

一般会計補正予算（第3号）

▽補正額 2000万円

▽主な内容

台風18号で損壊した市道（野田・若
見）の工事。補正後の予算総額310
億8339万円

介護保険特別会計補正予算（第2号）

▽補正額 2億7024万円

▽補正後の総額 49億8718万円

▽主な内容

平成26年度の剰余金を、介護保険基
金への積立（1億4601万円）と国・
県の支出金の返還（1億2422万円）
にあてるもの。

※表示単位は万円未満切捨て

条例案件

議会の議員その他非常勤の職員の公務
災害補償等に関する条例の一部改正

共済年金を厚生年金に統一する制度
改革により、条例が引用する共済組
法の規定による障害共済年金及び遺族
共済年金に係る規定を削除するもの

マイナンバー制度に関する条例改正

討論 P 6

▽個人情報保護条例の一部改正

番号法の施行により特定個人情報、
情報提供記録について、厳格な保護措
置が求められるため、個人番号の取扱
いを条例に定めるもの

▽市税条例等の一部改正

個人番号・法人番号を市税に関する
申告書等の記載事項に加えるもの、ほ
か住宅ローン控除の適用期限延長など
▽使用料及び手数料条例の一部改正
通知カード・個人番号カードの再交
付の場合の手数料を定めるもの

初回の交付は無料。
通知カードは10月
にみなさんに郵送さ
れています。



特別委員会の設置

田原市では、たはらエコ・ガーデンシティ推進
計画に基づき、太陽光や風力を活用した再生可能
エネルギーの積極的な導入推進を図っています。
近年、再生可能エネルギーの固定買取価格制度の
導入を背景に、大規模な発電施設が市内に増加し
景観など土地利用上の課題が発生していることか
ら、再生可能エネルギー施設立地規制検討特別委
員会を設置し、施設設置の立地規制などの基本的
な考え方の検討を進めることとしました。



委員長	渡会清継		
副委員長	大竹正章		
委員	河邊正男	杉浦文平	長神隆士
	荒木茂	辻史子	小川貴夫
	廣中清介		



意見書の送付

定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

陳情を受け、文教厚生委員会の審議後、本会議において全会一致で可決し、内閣総理大臣、文部科学大臣などに意見書を提出しました。

陳情者 田原市教員組合

執行委員長 菰田 和利

意見書の内容

・小学校・中学校の少人数学級の拡充を含めた教職員の定数改善計画を早期に策定、実施すること。
・義務教育費国庫負担制度の堅持と、国庫負担率を2分の1に還元すること。

安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書

請願を受け、総務委員会での審議後、本会議において全会一致で可決し、内閣総理大臣、参議院議長、防衛大臣などに意見書を提出しました。

法案は、9月の国会で採決見込みであったため、田原市議会では会期予定を変更し、9月10日に本会議を追加開催して採択し、参議院での採決前に意見書を送付しました。

請願代表 永田 みよ江

紹介議員 河邊 正男・廣中 清介

請願内容

多くの憲法学者が違憲をめぐえないとし国民の過半数以上が反対、世論が二分する安保関連二法案の慎重審議を求める意見書の提出を求める。

意見書の内容

・安保関連法案については、国民の十分な理解が得られるよう、慎重な審議を求める。

9月7日 総務委員会での審議

安全保障関連法案についての委員の意見は賛否両論だが、請願事項の安全保障関連法案の審議については、全委員とも国民の十分な理解が得られるよう慎重審議を求めるとの意見で一致しました。

意見

仲谷政弘委員 国民を守るための法案であり、これに反対する意見書なら同意できないが、国会に丁寧な審議を求めるという意見書であれば賛成。

杉浦文平委員 憲法学者、元最高裁判所長官による違憲の指摘は重要。丁寧な説明、国民が理解できる慎重審議を望む。

森下田嘉治委員 安全かつ安心して生活するためには、何らかの抑止力強化が必要である。法案については、丁寧かつ慎重な審議を求める。

中神靖典委員 世論を二分する議論が交わされている。審議中の法案については、国民の十分な理解が得られるような慎重な審議を求める。

彦坂久伸委員 国会は、国民の意見の代議制であることから、国論を二分している中においては、慎重に丁寧な審査を行うべきである。



田原市博物館 平成27年「夏の企画展」

戦後70年

渥美半島と戦争

平成27年 7月18日(土) ↓ 8月30日(日)

〔開館時間〕
午前9時—午後5時
(入館は午後4時30分まで)

〔休館日〕毎週月曜日
●ただし、7月20日(日・祝)は開館し、
7月21日(火)は休館します。

〔主催〕田原市教育委員会
田原市博物館
中日新聞社

〔後援〕愛知県教育委員会

田原市博物館

陸軍伊良湖射場
気象塔兼展望塔(通称・六福塔)

博物館 夏の企画展

マイナンバーに ついでに審議

制度開始に伴い、市関連条例の改正について委員会での審議後、本会議において、討論のあと、賛成多数で可決しました。

個人情報保護条例の一部改正（議案第57号）

市税条例等の一部改正（議案第58号）

使用料・手数料条例の一部改正（議案第59号）

本会議

討論

反対（河邊正男議員）市は住民基本台帳など、市民の重要な個人情報

を多数保有している。漏洩に備えたりリスク分析で、保護措置を講ずるべきで、マイナンバー制度実施を中止すべきであり反対する。（議案第57・58・59号）

賛成（仲谷政弘議員）条例改正は、法の趣旨を踏まえた、個人情報をより厳格に管理するための改正であり、マイナンバー制度を運営する上で必要不可欠であり賛成する。（議案第57・58号）

賛成（長神隆士議員）個人カード再交付の手数料は近隣市と比べても適正であり、マイナンバー制度はメリットがあるため賛成する。（議案第59号）

9月29日

総務委員会

9月10日
付託議案
3件

個人情報保護条例の一部改正

特定個人情報の目的外利用が認められる、「人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき」とは。

災害等で本人が意識不明で入院している場合などを想定している。

保有特定個人情報にだけ、代理人の開示請求権を認めている理由は。

インターネットに接続していない人は、情報提供等記録開示システムの利用ができないため、代理人を認める必要がある。

マイナンバー制度は、市民への影響が大きく、また市役所の多くの部署に影響するため、委員会での関連条例の審議のほか、9月定例会前の総務委員会（8/19）・文教厚生委員会（8/19）全議員を構成員とする全員協議会（8/27）で制度について市当局から報告がありました。

代理人とは。

社会保障・税の分野の手続きは、税理士、社会保険労務士などの専門家に依頼することが多く、代理人になると思われる。

保有個人情報提供の対象は。

地方税や健康保険関係事務など個人番号利用事務が対象。



通知カード（見本）

市税条例等の一部改正

旧3級品紙巻たばこの特例税率廃止に伴う市税収入への影響は。

毎年度150万円から500万円ほどの増収となる。特例が完全廃止となるH31年度以降は、H26年度と比較すると、約1000万円の増収見込。

文教厚生委員会

9月8日
付託議案
1件

使用料及び手数料条例の一部改正

発行される通知カード・個人番号カードの再発行手数料の金額の根拠は。

手数料（通知カード（500円）・個人番号カード（800円）は、総務省のカードの原価を参考にした金額で、県内市町同一単価である。

カードを紛失した際の個人情報流出の心配は。

ナンバーを使用する際には、本人確認も厳密に行う制度のため、カードを紛失しただけでは、個人情報は流出しない。専用ダイヤルで、ナンバーの一時停止ができ、その後紛失届や番号提出届を行うことになる。

討論

反対（河邊正男委員）
賛成（長神隆士委員）

討論の主旨は一段目に記載

決算・補正予算に ついでこの審議

予算決算委員会での審議後、本会議において、討論のあと、賛成多数で可決しました。

本会議

討論

一般会計歳入歳出決算認定

反対（河邊正男議員） 設楽ダム・ごみ処理広域計画・学校再編・悪臭問題の事業内容について反対する。
賛成（長神隆士議員） 健全な財政運営が行われており賛成する。

9月29日

国保特別会計歳入歳出決算認定
反対（河邊正男議員） 国保の被保険者負担は重く、市は法定外繰入により国保税の軽減を図るべきで反対する。
賛成（長神隆士議員） 被保険者に適切な給付を行っている。安定運営のための適切な決算であり賛成する。

介護保険特別会計歳入歳出決算認定
反対（河邊正男議員） 保険料・利用料の負担が重い。今期1億5千万弱の基金積立があるにも関わらず保険料単独減免はなく、反対する。

賛成（長神隆士議員） 適切な給付のほか、地域包括支援センターによる高齢者支援等も積極的に行われており賛成する。

予算決算委員会

9月14日～17日
付託議案
8件

一般会計歳入歳出決算認定

問 物品売買収入（1300万円）の内訳は。
答 公用車の売り払い2件（約130万円）、公共財産オークション11件（約442万円）、金属資材売却（約739万円）。

問 昨年からはじめた「生活ささえあいネット」の取り組み状況は。
答 先行地区として2地区（野田、清田・福江）で実施。3月末で支援依頼者の登録が39人、サポーターが59人。今後、市全体に広げる。

問 減少する地区老人クラブへの支援の考えは。
答 前年度より、クラブ数は7、会員数は612名減っている。クラブ連合会と補助金のあり方について調整していく。

問 渥美病院の救急医療運営への補助率は。
答 8千万円のうち、6千万円を補助している。（年間）

問 副反応が心配される子宮頸がん予防接種は継続していくのか。
答 積極的に勧奨はしていないが、希望者には医療機関で十分な説明と情報提供を行い、引き続き実施する。

問 改装した蔵王山展望台の入場者数の推移と課題は。
答 入場者は順調に増えている。展示の更新など、新たな魅力づけで入場者数を維持する必要がある。

問 渥美半島観光ビューローの今後。
答 今年の理事会で中・長期的な方向性を踏まえながら、今後の体制等について検討していく。

問 広域幹線道路について、その必要性を市民に知ってもらうことも必要では。
答 国・県へは、臨海企業・商工会等も一緒に要望しているほか、市民

問 向きの啓発も実施する必要があると認識している。
答 H26年度に購入した自動心臓マッサージ器の使用実績は。

問 2月購入のため、実績は消防署渥美分署1件、赤羽根分署0件。渥美分署にはもともと1台あり、全体では16件の使用があった。（H26）

問 新給食センターの評価は。
答 供用から一年半たち、当初は不具合もあったが順次改善。試食見学会や子ども達から、美味しいという声をいただいている。

問 国保特別会計歳入歳出決算認定
給付額が減少した理由は。
答 H20年度から実施している特定健診が浸透したと思っている。

介護保険特別会計歳入歳出決算認定
問 H26年度の認知症施策の取組みは。
答 「認知症ケアパス（認知症の人の状態に応じた適切なサービス提供の流れ）」の作成、徘徊高齢者の見守り「SOSネットワーク」を立ち上げた。

ここが聞きたい

一般質問



9月定例会では、10人の議員が個人質問を行いました。

施設園芸に対する今後の方策は

園芸施設情報バンクを活用し施設園芸を再構築

一問一答方式



岡本 禎稔 議員
自民クラブ

遊休温室の今後の対策について

問 園芸施設情報バンク事業（※）の利用状況は。

答 3月の開始から、登録2件、うち1件が売買成立。

問 バンク事業は進んでいないと感じる。推進のための具体策は。

答 ①制度の周知
②貸借の適正価格の決定と提示
③施設の修繕・施設の最終処分のルール化
愛知県田原農業改良普及課、JA愛知みなみと連携し、よりよい推進方法を検討していきたい。

問 遊休温室対策として、目に見える形で早急に実現できる事業は。

答 バンク事業の登録情報は地図や写真を使い、自宅でも簡単に閲覧できるシステム構築を考えている。

問 施設園芸農家は、重油高騰や花きの低価格等で経営が圧迫されている。施設園芸に対する今後の方策は。

答 国の進める大規模施設園芸ではなく、現在の園芸施設も活用できる園芸施設情報バンクを活用し、地の利を生かした施設園芸を再構築する。



施設園芸の再構築にバンク事業の活用を

（※）園芸施設情報バンク事業…規模縮小・離農する農業者の温室を、規模拡大を希望する者にあっせんするシステム。情報は、市とJA愛知みなみの窓口で閲覧可能。

「健康たはら21第2次計画」での喫煙率低減の取り組みは

正しい知識の普及啓発・環境整備・禁煙支援の3本柱で

一問一答方式



廣中 清介 議員
市民クラブ

「健康たはら21第2次計画」における禁煙への取り組みについて

- 問** 田原市の喫煙に関する課題は。
- 答** 子育て世代の男性の喫煙率が特に高い。子供の受動喫煙防止のための環境整備が重要と考える。
- 問** 喫煙率目標値（男17%、女2%）達成のための具体的な取り組みは。
- 答** たばこの害についての正しい知識の普及啓発、人が多く集まるところの禁煙化、禁煙チャレンジ講座の開催と禁煙外来治療費の助成。
- 問** 学校での禁煙教育の実施状況と内容は。
- 答** 小学校6年生の保健学習、中学校3年生の保健体育の授業で、飲酒や薬物乱用などと同様に喫煙が心身に悪影響を与えることを学習している。

- 問** 市の施策「健康たはら21」により市民の喫煙率を下げようとする場合、市職員が市民の模範となるべきと思うが、市職員への喫煙対策は。
- 答** 田原市職員安全衛生管理規定により設置された安全衛生委員会が中心となって、職員の健康対策に取り組んでいる。
- 問** 豊橋市や蒲郡市では、市職員の勤務時間内の禁煙が実施されているが、田原市としての考えは。
- 答** 10月1日からの職員の勤務時間内喫煙禁止に向け、準備を進めている。



一般質問とは



議員が、市の一般事務について、執行機関に対しその事務の状況・将来の方針などについて、報告・説明を求める、疑問を問い確かめるために質問をすることです。

一般質問は定例会（年4回）のみ行えます。

スクールソーシャルワーカーの配置は

来年度より学校への配置を計画

一問一答方式



辻 史子 議員
公明党田原市議員

生活困窮者自立支援制度（※1）の着実な実施について

問 自立支援に向けて、市が任意で行う事業の考えは。

答 生活再建に直結する就労準備支援事業を早期に実現したい。市内事業所等に協力を求めていく。

問 支援が必要な子どもへの教育委員会の取り組みと学校へのスクールソーシャルワーカー配置の考えは。

答 子ども・若者相談総合窓口で対応するとともに、訪問型アウトリーチ家庭支援チームで支援している。（※2）来年度より、学校へのスクールソーシャルワーカー配置も計画。

（※1）生活困窮者自立支援制度（平成27年4月より施行）…様々な理由で生活に窮する人たちの相談を自治体が窓口となり就労準備支援事業・一時生活支援事業等を実施。

（※2）就労等生活支援を含めた課題に、ファイナンシャルプランナー、心配ごと相談員などのチーム員が、各所に出向き解決を図る。



地方創生総合戦略策定の現状について

問 長期人口ビジョン、田原市まち・ひと・しごと総合戦略策定の進捗状況は。

答 庁内組織・外部有識者組織を立ち上げて策定を進めており3月までに策定。

問 国の方針には「地方の力を引き出す」とあるが、本市の強みをどう引き出すのか。

答 農業や製造業など本市基幹産業の振興、まちづくりを行う人材育成や広域連携、官民連携による制度の活用などを進めて行く。

問 市長の考える地方創生とは。

答 地元産業を元気に。医療・防災、教育環境の充実。特に子育て支援に力を入れ、希望の持てるまちをつくっていききたい。これらを総合戦略の骨子に反映させている。

問

導入している自治体（半田市）での課題・問題点は想定したほど市民からの情報が集まらない、県等との連絡調整がなかなかできないという課題がある。

答

市に有効と判断できれば運用に向けて取り組みたい。

問

スマートフォンでのアプリケーションを活用した市民からの道路情報の連絡システムを導入できないか。

答

管理する道路が総延長約1727kmと長いため、細部まで目が行き届かない状況があり、老朽化や傷みによる危険箇所の早期把握と修繕が必要。

問

道路等維持管理対策への市民参加について

道路の維持管理対策の現状と課題は

一問一答方式

スマホを活用した市民からの道路情報連絡システムの導入は有効と判断できれば運用に向けて取り組みたい



長神 隆士 議員
自民クラブ

市民館に市役所の行政職員を配置する考えは

校区まちづくりアドバイザーの活用で対応
職員を配置する考えはない

一問一答方式



大竹 正章 議員
市民クラブ

地域医療を守るため必要な施策とは

- 問** 現在の市内の医療体制をどう認識しているか。
- 答** 公的病院の医師不足・地域の診療所の減少という大きな課題を抱え、早急な対応が必要である。
- 問** 本市に必要な医療体制をどう定義づけるのか。
- 答** 公的病院は総合病院としての機能を十分に発揮し、診療所は病院や行政との連携を密にし、かかりつけ医を中心とした切れ目のない医療、介護を提供できる体制である。
- 問** 目指すべき地域医療の体制とは。
- 答** 住みなれた土地で安心して生活できるよう、診療所・公的病院の機能の充実を図り、必要に応じて、適切な医療が受けられる体制づくりを目指す。



地域コミュニティと市民協働を生かす施策とは

- 問** 地域課題は市役所内でどのように共有されているのか。
- 答** 校区コミュニティ協議会ごとに校区まちづくり推進計画が策定されており、地域の現状、課題や将来像を共有している。
- 問** 市民館からコミュニティセンターに移行し、複合的な行政サービスを実践している先進例について、どのように評価をしているか。
- 答** 市の出張所などを設け、住民票や印鑑証明の交付ができる市もある。自宅に近い場所でのサービスは、メリットと考えている。
- 問** 再任用職員を含め、市民館に市から行政職員を配置する考えはないか。
- 答** 配置する考えはない。校区へのアドバイス・市とのパイプ役として配置している校区まちづくりアドバイザーの職員を活用することで対応する。



- 問** システムの運用に際し、届いた情報を市役所担当課内で情報共有することに問題ないのか。
- 答** 職員の間では問題なく情報の共有が可能である。
- 問** 半田市では、市民からの情報が少ないということだが、増やす取り組みとして、サポーター制度導入の考えは。導入すると決まっていないので、現在は未定。まちづくりに積極的に活動している団体もあり、今後検討する中で仕組みづくりを考えたい。
- 答** 半田市では、市民からの情報が少ないということだが、増やす取り組みとして、サポーター制度導入の考えは。導入すると決まっていないので、現在は未定。まちづくりに積極的に活動している団体もあり、今後検討する中で仕組みづくりを考えたい。

給食は食育 憲法で義務教育は無償とされているが

給食費無料化は有効な子育て支援策であり
一部無料化を検討する

一問一答方式



河邊 正男 議員
日本共産党田原市議団

学校給食無料化について

問 食育は生きた教材。子育て支援として有効な施策である給食費無料化の実現について伺う。

答 食材費以外は市が負担していることなどから、現在のところ実施の考えはないが、子育て支援施策の一つの施策として、県内では一部無料化している自治体もあるので、本市もそれらを参考に検討する。

問 学校給食法で、学校給食費（食材費）は保護者負担とされているが、設置者の判断で負担の軽減、もしくは負担を無しにすることは可能。無料化はできないか。

答 法の解釈では、設置者の裁量が認められている。無料化にすると2億5千万円以上の経費がかかり、完全無料化は難しいと考える。

問 学校給食は食育の唯一の教材だと思う。憲法で義務教育は無償とされており、食育は教育であり給食費無料化ということではないか。

答 給食費の無料化は、有効な子育て支援と考えており、完全無料化を実施する考えはないが、一部無料化を検討することは田原市にとっては新たな一歩と考えている。



神戸小学校

問

渥美半島観光ビュローの課題は。

答 中長期を見据えた組織運営となっていないため、専門知識を持ち、継続的活動ができる人材の登用が課題。方向性については理事会で検討を進める。

問

民間経済活動として自立運営できることが望ましいが、公共性の高い事業は委託も考えられる。

問

ターゲットをしぼった事業は市民団体に委託できないか。

答 基本コンセプトを「渥美半島まるごと観光の推進」とし、「女子旅・シルバー・スポーツ・学習&視察」などをターゲットに観光メニューや旅行プラン等を作りあげる。

問

新たな観光基本計画の方向性は。

観光振興施策について

一問一答方式

観光振興に対する平成28年度
予算への市長の意気込みは
観光の一大拠点である
伊良湖岬周辺の活性化は必要



小川 貴夫 議員
自民クラブ

豊川用水の持続的な利用に向けた取り組みは

大規模地震対策など
追加工事の実施に向けて取り組んでいる

一問一答方式



古川 美栄 議員
自民クラブ

農業基盤の整備促進について

- 問** 豊川用水の持続的な利用に向けた取り組みは。
- 答** 老朽化を受け、継続的な施設の維持・更新をするため豊川用水2期事業が実施されている。また、東日本大震災を踏まえた大規模地震対策などの追加工事を予定しており、円滑な実施に向けて取り組む。
- 問** 新たな工事の事業費と事業量は。
- 答** 事業費は706億円、事業量はトンネルの補強等で5km、断水回避のための分散併水路の新設41km。
- 問** 事業の完成年度は。
- 答** 新たな工事の追加に伴い、事業期間を15年間延長し、平成42年度の完了を目指している。
- 問** 地元農家の負担はどの程度か。
- 答** 施設が被災した場合の二次災害を防ぐ耐震対策工事であるため、地元農家の負担は求めない予定。

- 問** 今後の整備は農業基盤整備だけでなく、農村集落及び農業施設の環境整備にも重点を置くとされているが具体的には。
- 答** 国の補助を受け、道路、排水路、防災施設など地域の多様なニーズに応じた整備を実施している。
- 問** 未舗装道路もあるが、市内道路の舗装率は。
- 答** 道路総延長約1,727km、舗装延長は約1,437kmとなり、舗装率83%である。
- 問** 農村地域での舗装の新設を進めるべきでは。
- 答** 今後も総合的に事業内容を検討し、土地改良区と調整を図りながら整備を進めていきたい。



豊川用水を貯水する初立池



活性化が期待される伊良湖岬

- 問** 伊良湖岬周辺の観光基盤整備の方向性について。
- 答** 「恋をテーマとするイメージづくりの強化」「散策ルートやサイクリングコースの充実」「漁港の活用」等、ハード・ソフトの両面から伊良湖岬のブランドイメージ向上に結び付く整備を行っていく。
- 問** サーフィンの活用について。
- 答** サーフィンのまちとしてのイメージ戦略、プロモーションを展開し、将来的には定住につなげたい。
- 問** 観光振興に対する平成28年度予算への市長の意気込みは。
- 答** 観光の一大拠点である伊良湖岬周辺の活性化は、どうしても必要。様々な立場の方と相談し、活性化を進めていきたい。

ホームページへの交通安全情報の掲載は

ホームページのリニューアルを進めており
交通安全情報の掲載を検討

一問一答方式



平松 昭徳 議員
市民クラブ

交通安全の取り組みについて

- 問** 特に力を入れて取り組んできたことは。
- 答** 高齢者の交通安全対策に重点的に取り組み、キャンペーンでの呼びかけ、反射材の配布などの交通安全啓発を行い、注意喚起を促してきた。
- 問** ホームページに交通事故の発生状況や、発生場所の地図など、交通安全に関する情報を掲載するべきでは。
- 答** ホームページのリニューアルを進めており、交通安全情報を掲載する方向で検討する。
- 問** 市役所内での交通安全推進体制は。
- 答** 市民協働課、学校教育課、子育て支援課など関係課が連携して取り組んでいる。

- 問** 市役所に交通安全をイメージできる名称の担当課、係などを設置すべきでは。
- 答** 市民協働課が交通安全を担当する部署であることを市民のみなさんに周知していく。
- 問** 交通安全計画にあわせ、実施計画が必要では。
- 答** 交通安全計画は、道路環境の整備、交通安全思想の普及徹底、安全運転の確保、道路交通秩序の維持など、すぐに実行しなければならない施策なので、実施計画は策定していない。



秋の交通安全街頭キャンペーン

本会議では、議案に対して一人ひとりの議員が賛成・反対の意思表示をします。この結果が議会の意志決定（可決、否決、同意など）となります。議長は議決には加わりません。

○…賛成 ×…反対

議案名		結果	中神靖典	仲谷政弘	渡会清継	赤尾昌昭	河邊正男	廣中清介	森下田嘉治	岡本禎稔	平松昭徳	杉浦文平	小川貴夫	大竹正章	長神隆士	荒木茂	彦坂久伸	辻史子	古川美栄
平成26年度決算認定	62 一般会計歳入歳出決算認定	可決(賛16・否1)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	63 国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	可決(賛16・否1)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	64 公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	可決(賛17・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	65 農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	可決(賛17・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	66 田原福祉専門学校特別会計歳入歳出決算認定	可決(賛17・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	67 介護保険特別会計歳入歳出決算認定	可決(賛16・否1)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	68 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	可決(賛17・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69 水道事業会計利益の処分及び決算認定	可決(賛17・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

泉中学校南側市道の冠水対策は

新堀川の河川改修を県に強く要望
女郎川は市でしゅんせつを実施したい

一括質問一括答弁方式



杉浦 文平 議員
無所属クラブ

道路冠水対策について

問 次の5か所の冠水の原因は。

- ① 泉中学校南側道路
- ② 国道259号の高木地区 J A 農機センター付近
- ③ 国道259号の石神交差点付近
- ④ 西山町地内の市道
- ⑤ 小中山保育園付近

答 冠水の原因は。

- ① 道路が新堀川・女郎川の堤防の高さより低い。
また、河川の樋門などが流水を妨げている。
- ② 道路南側の山林から多量の水が集まり、また道路周辺は平坦地で水が流れにくい。
- ③ 道路の縦断勾配が少なく、排水しにくい。
- ④・⑤ 平坦な地形で排水の勾配が取りにくい。

問 具体的な対応策、実施時期は。

- 答**
- ① 新堀川の樋門改修を県に要望しているが、さらに強く河川整備を要望し、早期に事業化されるよう調整していく。女郎川は市でしゅんせつを考えている。
 - ② 水を分散排水する対策を、県が本年度事業実施する予定。
 - ③ 側溝の大型化、排水流末の見直しなどを県に要望し、市も早期の流末水路整備を検討する。
 - ④ 関連する下水道、畑地事業、また地元と調整しながら早い時期に対応策を講じる。
 - ⑤ 改善に向けて9月補正予算を計上しており、地元と調整しながら進めていきたい。



① 泉中学校南側道路

審議結果 (9月定例会)

○…賛成 ×…反対

議案名		結果	中神靖典	仲谷政弘	渡会清継	赤尾昌昭	河邊正男	廣中清介	森下田嘉治	岡本禎稔	平松昭徳	杉浦文平	小川貴夫	大竹正章	長神隆士	荒木茂	彦坂久伸	辻史子	古川美栄
条例	57 個人情報保護条例の一部改正	可決(賛16・否1)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	58 市税条例の一部改正	可決(賛16・否1)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	59 使用料及び手数料条例の一部改正	可決(賛16・否1)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70 議会の議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正	可決(賛17・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算	60 平成27年度一般会計補正予算(第2号)	可決(賛17・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	71 平成27年度一般会計補正予算(第3号)	可決(賛17・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	61 平成27年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決(賛17・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書 議員提出	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	可決(賛17・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書	可決(賛17・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

常任委員会所管事務調査

所管事務調査とは、常任委員会が自主的にその所管事務を取り上げ、積極的に調査を行うことができる権限です。

総務委員会

8月19日
報告6件

まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子（案）

総合計画の理念を引き継ぎながら、平成31年までの5年間の方針と戦略を定めるもの。

問 集中的に取り組む施策は。

答 住む場所と働く場所をセットにした、サーファアの移住など、新規性・独自性の高い事業に取り組みたい。

行政評価

市の活動目的を明確にし、成果を数値化し評価する仕組み。

H26年度の事務事業評価の結果報告。

問 評価が低い事業の取扱いは。

答 来年度予算ヒアリングで妥当性を精査したい。

ぐるりんバス・八王子線の再編

問 回数券をぐるりんバスだけでなく、豊橋鉄道のバスでも利用できないか。

答 公共と民間。法制度を踏まえて今後検討したい。

その他、第2次行政改革大綱の総括、社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）等について説明を受けた。



経済建設委員会

8月19日
報告2件

創業支援事業計画

市内で創業・第二創業を目指す人が国の支援制度を活用できるよう、創業支援計画を策定するもの。策定後は、特定創業支援事業などが受けられる。

問 特定創業支援事業の証明を受けることによる具体的なメリットは何か。

答 登録免許税0・7%を0・35%に軽減、創業関連保証枠1000万円を1500万円に拡大、創業関連保証枠の特例期間2ヶ月を6ヶ月に延長することができる。

中央公園暫定整備

経済状況の悪化などを理由に、体育施設の整備を休止していた公園用地の有効活用を図るため暫定整備を進める。

問 どのような需要でグラウンド整備を行うことになったか。市内にある他の既存グラウンドの稼働率を上げる方が良いのではないか。

答 各種スポーツ団体の要望などを勘案して、暫定整備をするということを進めている。

問 総工費は。
答 概算で、最低でも10億円を見込む。

文教厚生委員会

8月19日
報告3件

市内私立幼稚園の認定こども園への移行

赤石・蔵王幼稚園が、10月から「こども園」として園児の募集を開始するため、その経過を説明するもの。

問 教育を希望する子と、保育を必要とする子が園に混在するが、影響はないのか。

答 教育と保育を一体的に運用していく。具体的なやり方は各園が定めるが、県の認可を受けるため、大きな影響はない。

環境関連条例の整備

公害防止条例の見直しと、ゴミのポイ捨てや悪臭の発生などへの対処のため条例改正を行う。条例化により、違反者氏名の公表や重点地域の指定を検討。

問 野積みの堆肥など、悪臭はどのように解決していくのか。

答 条例化することで、市民に周知し、違反者氏名の公表などが抑止力になることを期待している。

その他、社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）について説明を受けた。

行政視察

田原市の課題について、先進地視察を行いました。

詳しい内容は、田原市議会ホームページ▷市議会の案内▷各種行政視察をご覧ください。

総務委員会



7月7日～9日

ふるさと納税制度について（鳥取県米子市）

米子市のふるさと納税制度は、特産品の充実、クレジットカード決済の導入等で実績を伸ばしてきた。また、ふるさと納税を地場産業の振興、地域活性化の視点から市民自治推進課が担当している。

田原市も、シティセールスの観点からも、ふるさと納税に積極的に取り組むべきである。

その他の視察先：公共施設白書について（岡山県玉野市）、シティセールス事業について（鳥根県出雲市）、人口増加対策について（鳥取県日吉津村）

7月1日～3日

生産者が中心となった道の駅運営について （道の駅「内子フレッシュパークからり」）

内子フレッシュパークからりでは、商品開発、品質管理、イベント企画運営までを地元農家女性が行うことにより、当初に比べ利用者が6倍、販売額が8倍になっている。

田原市の道の駅運営でも、この取り組みを参考にしつつ、地域に合った運営方法を考える必要がある。

その他の視察先：農業6次産業化の取り組みについて（愛媛県西条市）、自転車による地域振興施策について（広島県尾道市）

経済建設委員会



6月29日～7月1日

地域医療について（NPO法人支える医療研究所）

北海道瀬棚町で老人医療費の削減、夕張市で医療センター再建、岩見沢市では支える医療、他職種連携による地域医療の実績があるNPO法人支える医療研究所 村上智彦医師を訪問した。

日本の医療は世界最高水準なのに、国民の医療に対する満足度は世界最低。医療とケアの見極めやまちづくりの本質に目をむけ、住民の意識を変えることができれば、必ず医療費を減らせ、健康づくりに貢献できる。

その他の視察先：バイオガスエネルギーについて（北海道鹿追町）、児童通所施設について（北海道苫小牧市）

文教厚生委員会



三河港護岸工事請負契約を可決

緑が浜地内(田原1区) 3号水路の矢板護岸の塩害等による腐食劣化が激しいため、2ヶ年で改修工事を行うものです。

▽三河港護岸工事請負契約

契約金額 1億6524万円

相手方 株式会社 菅原土木

※1億5千万円を超える工事請負契約は議会の議決がないと執行できません。



臨時会は、次の定例会を待つことのできない緊急の議決案件が生じたときに開催されます。

田原市議会の定例会は3・6・9・12月に開催されます。

8月5日
設楽町・田原市議会議員交流会



低炭素施設園芸モデルハウス(大久保町) 蔵王山展望台、伊良湖休暇村公園等を視察

7月29日
市内視察研修



アイシン・エイ・ダブリュ(株)田原工場 トヨタ自動車(株)田原工場など視察研修

7月21日
愛知県後期高齢者医療広域連合臨時議会



大竹正章(文教厚生委員長)が監査委員に就任しました。

8月10日～11日
東三河広域連合議会
8月定例会



田原市選出議員が出席
(渡会清継、彦坂久伸、杉浦文平)

8月3日
東三河市町村議会議員合同研修



講演「自治体間連携・補完と議会の役割」
講師 山梨学院大学教授 江藤俊昭氏

7月28日
豊橋・湖西・田原市議会議長協議会
第1回定期総会



浜松3ヶ日・豊橋道路の早期事業化の促進を目指しています。

ちびっこ議会の開催

田原青年会議所創立45周年記念事業

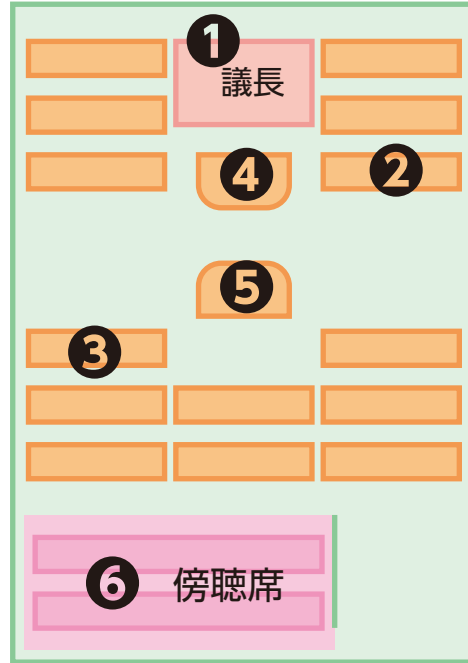
市内の小学生が、市長や議員になったつもりで、「田原の未来」について自分たちの思いを発言する模擬議会が田原市議会議場にて開催されました。

8月23日(日)



① 議長席

議長は議事進行を行います



議場



② 当局席

市長・部長の席



③ 議員席

発言をするときは挙手をし、議長の許可を求めます



④ 登壇席 (当局・議員)

最初の発言はここで行います



⑤ 質問席 (議員)

2回目の質問はここで行います



起立表決

賛成者は起立することで意志を表明します



⑥ 傍聴席

議会を傍聴しませんか?

本会議・委員会は公開しています。

会議当日、手続きをすれば、どなたでも傍聴できます。

(本会議は市役所本庁舎 (北) 3階・議場)

(委員会は // (南) 5階・第2委員会室)



広報広聴特別委員会より

田原市議会では、広報広聴特別委員会が議会だよりの発行を担当しています。

現在のメンバーは、新任議員3人を含む8人です。

委員会の役割は、議会の活動を知らせるだけでなく、広報広聴特別委員会という名前のおり、皆さんの意見を伺う事も重要な仕事です。議会報告会や、まちで、是非、みなさんの考えを聞かせてください。

委員長 荒木 茂 副委員長 河邊 正男
委員 杉浦 文平 長神 隆士 辻 史子
小川 貴夫 広中 清介 岡本 禎稔

8月21日 議会だより研修会



8月27日 委員会



お知らせ information

平成27年第4回定例会（12月議会）会期予定

12月1日（火）から12月15日（火）

12月 1日（火）	本会議（第1日）提案説明、一部採決
12月 3日（木）	本会議（第2日）一般質問
12月 4日（金）	本会議（第3日）一般質問、質疑、委員会付託
12月 7日（月）	文教厚生委員会、経済建設委員会
12月 8日（火）	総務委員会、予算決算委員会
12月 11日（金）	議会運営委員会・協議会
12月 15日（火）	本会議（第4日）委員長報告、質疑、討論、採決

議会中継を実施しています。
(<http://www.city.tahara.aichi.jp/gikai/>)
※12月3日（木）・4日（金）中継予定

編集後記

今年の議会だよりのテーマは「輝く女性」ですが、今号は、番外編「輝く子どもたち」として8月23日（日）に開かれたちびっこ議会の様子を表紙と19ページで紹介しています。

子ども達は、身近なことから、大きな夢まで、田原市の未来についての自分の意見を、大きな声で、堂々と発表してくれました。

実は、新任議員である私も、今定例会で一般質問デビュー。議場で自分の思いを発表するのは緊張します。立派に発表した子ども達を見て、将来が心強く感じました。子ども達が、将来担いたいと思える田原を、残していくのが私達の使命です。 (S.O)



募集 **パートさん**
しその葉の摘み取り作業

募集 **内職さん**
しその葉の結束・パック詰め

(応募) まずはお気軽にお電話ください。
TEL 0531-37-0447

(有)前田園芸 田原市江比間二字郷中45
自宅: TEL0531-37-0447

保険は物がありません。約束事です。

TOKAI
INSURANCE
SERVICE 安心と信頼

東海保険サービス

〒441-3604 田原市伊川津町横津15-1
TEL0531-33-0037

※再生紙使用